

全国約1000以上の  
チェーン、そして100  
00もの店舗を誇る日本  
のフランチャイズビジネ  
ス(以下FC)。アメリ  
カのKFCから始まった  
このFCも、ようやく日  
本国内で浸透・拡大を続  
け、今やなくてはならな  
いスタイルのビジネスと  
なっています。私は、3  
年という短い期間ではあ  
りますが、このFCの仕  
組みを介護の業界から見  
つめ、本部構築をし、現  
在200箇所を超えるFC  
店を築き上げてきました。  
た。そのノウハウを基に、  
今後最大のテーマであ  
る、「今後のFCの在り  
方」について言及してい  
きたいと思います。  
キーワードは3つ。

- ・統制管理
- ・地方分権

#### ・情報リテラシー

1 店舗・店舗、収益が  
しっかりと上がるビジネ  
スモデルを作り提供する  
のは大前提。収益が上が  
らなければ加盟もしたく

## 介護変革 デイ・FCの 正攻法

### 第10回

## 今後のFCの在り方

### 感情論での拡大には限界あり 情報リテラシーの駆使などがカギ

ないし、させてはいけませ  
せん。FC本部を「見極  
める」「創り出す」ポイ  
ントは、情報がどのよう  
に管理され、仕組化・シ  
ステム化されているの  
か。そして、中央集権型  
ではなく、地方において  
もしっかりとしたサポー  
トができるものなのかと  
いう事が重要となってき  
ます。

どの業態においても、  
地域に根ざし、整備がさ  
れていなければ、サービ  
スもサポートもできませ  
ん。職員のモチベーショ  
ン、オーナーのモチベー  
ションもいかに本部との  
つながりを感じるものが  
できるかで、天と地ほど  
の差が開きます。

情報技術が発達してい  
ます。

最後に、3年という期  
間で200箇所を展開す  
るのは、困難を強いられ  
ました。また基礎も、情  
報処理技術もない初期、  
そしてその想いを共感し  
ていただいた初期の加盟  
オーナーの方々でした。  
その初期の全てが今を創  
り、そして今後も発展さ  
せていたただけるのだと思



日本介護福祉グループ  
代表取締役社長  
小柳壮輔

1977年生まれ。東京・練馬出身。98年専門学校卒業後、電機  
機整備会社や不動産会社、  
介護会社などを経て、2007年に  
フジタ・エージェンツ(現・  
日本介護福祉グループ)。08  
年から現職。